

株式会社 平山工業

平成 30年 12月度 (第32回)

平成 30年 12月 29日

安 全 衛 生 協 議 会

1. 安全教育

- ・先月度の重点行動目標の実施報告
- ・今月度の重点行動目標の作成

2. 会社連絡事項

- ・事務所内における喫煙マナーについて
- ・ごみの廃棄方法
- ・ヒヤリ・ハット報告書作成の注意点。
- ・伝票の作成の注意点。
- ・会社駐車場でのアイドリングの禁止。

3. 社員からの要望

- ・特になし

4. 今月の重点行動目標

車両事故の防止

具体的な対策

☆誘導員の配置

- ・誘導員(同乗者)がいない場合は車両周辺の確認の実施

☆交通ルールの遵守

- ・会社帰社時には規定ルートで帰社
- ・方向指示器の適時使用。
- ・早めのヘッドライト点灯。

☆運転計画

- ・余裕のある時間設定。
- ・体調不良(睡魔に襲われる等)などあれば休憩または運転手の交代。
- ・車両の点検の実施。
- ・天候の確認(凍結等)。

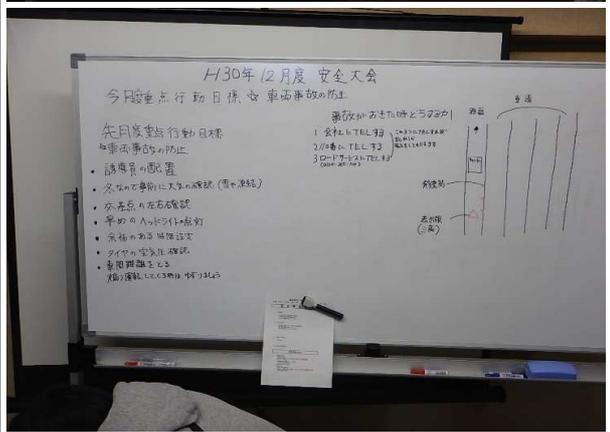
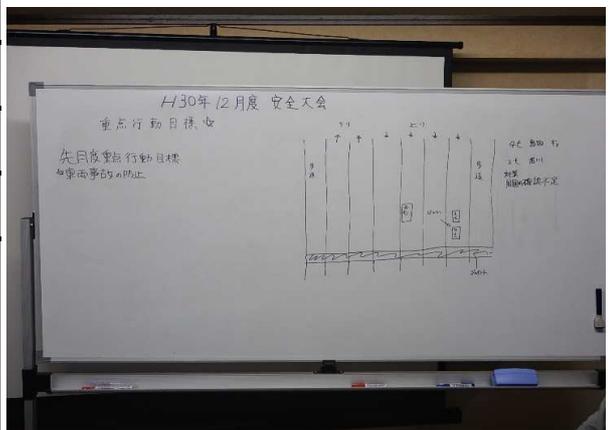
写真NO.	1
タイトル	安全衛生協議会
場所	会議室
日時	平成30年12月29日

備考:
参加者:24名



写真NO.	2
タイトル	安全衛生協議会
場所	会議室
日時	平成30年12月29日

備考:
参加者:24名



(株) 平山工業

平成 30年 12月度 ヒヤリ・ハット報告書まとめ

No.	報告者氏名	概 要
1	増尾 友寿	一般道路規制内作業で4tトラックをバックで移動時後ろの2tトラックに接触した。
2	武内 直行	足場上でバキュームブラストをしていた時研磨材が飛散し顔に当たった。
3	橋本 隆	現場への通勤中高速道路の追越し車線を走行中後ろの車両に煽られ車線変更をする際接触事故を起こしそうになった。
4	比嘉 武	足場上でバキュームブラストの延長管(塩ビ管)を片づけていた時パイプ内に帯電していた静電気に感電した。
5	加藤 武志	橋梁アンカー工事でアンカー筋(D38)の束を括っていた番線を切断した時アンカー筋が転がり足に当たった。
6	長濱 浩好	法面作業でパネル(800kg)をクレーンを使い設置中荷ぶれを起こし挟まりそうになった。
7	網野 温也	吊り足場上で移動時段差に躓き転倒しそうになった。
8	藤田 陽之	拡底アンカーのドリル削孔時ビットが噛み込みドリル本体が回って巻き込まれそうになった。
9	白井 眞人	橋梁足場上でブラケット廻りのシール作業を膝をついて移動した時小石を踏みその痛みでバランスを崩し倒れそうになった。
10	田村 政也	橋梁コア削孔の水を歩道上で段取り中水ポンプの先のカプラーから水が飛散してしまった。
11	岩本 一輝	橋脚足場内で昇降階段昇降時足元が雨で濡れていたため滑り転倒しそうになった。
12	築場 友哉	足場上で昇降機を使い上向きにドリル削孔時上を向きながら移動していたため躓き落下しそうになった。
13	居川 蓮也	現場ヤード内ノッチタンクに削孔水を移し替えようとタンク上で作業していた時足元が滑り落下しそうになった。
14	河田 康平	足場上でバキュームブラストをしていた時足が滑りバランスを崩し手元の研磨材が飛散しそうになった。
15	孔 国	足場上で移動時安全帯のヤードが引っ掛かり転倒しそうになった。
16	姜 昆	桁内足場でアンカー筋定着作業をしている時鉄筋に掛けていた足が滑り転倒しそうになった。
17	趙 躍進	足場上でボルト止めしてあるアングルを電動インパクトを使い撤去中手元を誤りボルトを落としてしまった。
18	島田 強	一般道路規制内作業で4tトラックをバックで移動時後ろの2tトラックに接触した。
19	城土 貴文	橋梁足場上でコア削孔中手元が狂い道具を落としそうになった。
20	甄 文東	橋上道路上でグラウトの攪拌作業をしていた時グラウトが飛散し目に入りそうになった。
21	姜 暁航	一般道路規制内作業でバキュームで集積した削孔水をバケツで運搬中手元が滑りこぼしてしまった。
22	尹 延浩	橋梁足場上でドリル削孔中既設鉄筋に干渉しドリルに巻き込まれてしまった。
23		
24		
25		

(株) 平 山 工 業

平成30年 12月度 安全衛生協議会

開催日

平成30年12月29日

開催場所

会議室

出席者名簿

No.	氏 名	No.	氏 名
1	尹 延浩	17	橋 本 隆
2	姜 曉航	18	長 濱 浩 好
3	趙 躍 進	19	岩 本 一 輝
4	甄 文 東	20	築 場 友 哉
5	河 田 麒	21	角 井 真 人
6	孔 国	22	島 田 強
7	姜 崑	23	比 嘉 武
8	居 川 蓮 也	24	鎌 倉 祐 輔
9	田 村 政 也	25	
10	網 野 温 也		
11	平 山 健 二		
12	加 藤 武 志		
13	武 内 直 行		
14	増 尾 友 寿		
15	城 土 貴 文		
16	藤 田 陽 之		